

男女共同参画会議(第47回)議事録

日時：平成27年12月25日（金）9:40～9:55

場所：総理大臣官邸 4階大会議室

【出席者】

	安倍	晋三	内閣総理大臣
議長	菅	義偉	内閣官房長官
議員	高市	早苗	総務大臣
同	岩城	光英	法務大臣
同	岸田	文雄	外務大臣
同	麻生	太郎	財務大臣
同	馳	浩	文部科学大臣
同	塩崎	恭久	厚生労働大臣
同	森山	裕	農林水産大臣
同	林	幹雄	経済産業大臣
同	石井	啓一	国土交通大臣
同	丸川	珠代	環境大臣(代理 平口 洋 環境副大臣)
同	河野	太郎	国家公安委員会委員長
同	加藤	勝信	内閣府特命担当大臣(男女共同参画)
同	家本	賢太郎	株式会社クララオンライン代表取締役社長
同	岩田	喜美枝	公益財団法人21世紀職業財団会長
同	大塚	陸毅	東日本旅客鉄道株式会社相談役
同	岡本	直美	日本労働組合総連合会顧問
同	柿沼	トミ子	全国地域婦人団体連絡協議会会長
同	鹿嶋	敬	一般財団法人女性労働協会会長
同	勝間	和代	経済評論家・中央大学客員教授
同	佐藤	博樹	中央大学大学院戦略経営研究科教授
同	高橋	史朗	明星大学教授
同	林	文子	横浜市長
出席者	石破	茂	地方創生担当大臣
同	中谷	元	防衛大臣
同	高木	毅	復興大臣
同	島尻	安伊子	内閣府特命担当大臣(科学技術政策)
同	高鳥	修一	内閣府副大臣
同	萩生田	光一	内閣官房副長官

同 世耕 弘成 内閣官房副長官
同 杉田 和博 内閣官房副長官

【議事次第】

1 開会

2 議題

男女共同参画基本計画の変更について

- ・第4次男女共同参画基本計画（案）について

3 閉会

【配布資料】

- 資料1－1 男女共同参画基本計画の変更について（諮問）
資料1－2 第4次男女共同参画基本計画（案）（概要）
資料1－3 第4次男女共同参画基本計画 参考指標（案）
資料1－4 第4次男女共同参画基本計画 用語解説（案）
資料2 男女共同参画基本計画の変更について（答申）（案）

参考資料 男女共同参画社会基本法（抄）

○男女共同参画担当大臣 おはようございます。それでは、ただいまから、第47回「男女共同参画会議」を開催いたします。

まず、議長である菅官房長官から御挨拶をいただきます。

○内閣官房長官 おはようございます。本日、安倍総理より、新たな男女共同参画基本計画の案について、諮問を受けました。

新たな男女共同参画基本計画は、全ての女性が、生き方に誇りと自信を持って、輝くことのできる社会を実現するための今後5年間の基本的な方向を示す、極めて重要な計画であります。

議員の皆様におかれましては、御審議のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

○男女共同参画担当大臣 ありがとうございます。

それでは、議事に入らせていただきます。

計画案の概要につきまして、高鳥副大臣から御説明いたします。

○高鳥内閣府副大臣 それでは、私から「基本的な考え方」答申を踏まえて作成いたしました、第4次男女共同参画基本計画の案について、御説明を申し上げます。カラーの資料1-2を御覧ください。

まず、目指すべき社会として、①個性と能力を十分に発揮できる、多様性に富んだ豊かで活力ある社会。②人権が尊重される社会。③男性中心型労働慣行が変革され、仕事と生活の調和が実現する社会、及び④、国際的な評価が得られる社会の4つを位置づけております。

また、改めて強調している点といたしまして、女性の活躍推進のためにも、男性の働き方・暮らし方の見直しが欠かせないことから、長時間勤務や転勤が当然とされている、男性中心の働き方などを前提とする労働慣行等を変革すること。

女性活躍推進法の着実な施行等により、女性採用・登用の推進のための取組や、将来、指導的地位へ成長していく人材の層を厚くするための取組を進めること。

東日本大震災後、初めての計画となることから、「防災・復興」分野を独立した分野として設置し、経験と教訓を踏まえ、男女共同参画の視点からの防災・復興対策・ノウハウなどを施策に生かすことなどを掲げております。

さらに、計13の個別分野につきまして71項目の成果目標を設定するとともに、その中から、重点的に監視・評価すべき目標として、14項目の「政策領域目標」を設け、実効性あるフォローアップを図ることとしております。

なお、4次計画の参考指標や用語解説の案もあわせて資料として提示いたしております。

以上であります。

○男女共同参画担当大臣 それでは、意見交換を行わせていただきたいと思います。
まず、有識者議員から御意見がありましたら、お願いいたします。
岡本議員、お願いいたします。

○岡本議員 ありがとうございます。

このたび、こうして第4次計画のまとめの最終段階に入りました。関係された皆様方の御尽力に感謝を申し上げたいと思います。

今回の第4次計画は、男性中心型労働慣行の変革などを掲げていて、野心的な内容だと思います。しかし、一方で、いわゆる202030が修正されたという報道がなされていて、トーンダウンしたのではないかという誤解もされています。こうしたことによって、各方面で男女共同参画が進まない、滞ってしまうということがないように、ぜひ政府におかれましても、計画と成果目標の趣旨を十分に周知していただき、これまで以上の取組をお願いしたいと思います。

○男女共同参画担当大臣 ありがとうございます。

では、柿沼議員、お願いいたします。

○柿沼議員 全国地域婦人団体連絡協議会会長の柿沼でございます。

今回の第4次計画に盛り込まれました数値目標というのは、大体達成可能な数値になっているのかなと思っているのですけれども、私たち国民も全国津々浦々まで努力をいたしますが、国際的な信頼を得るためにも、また、国の威信にかけて、この目標の計画が実現できるように、国として最大限の力をいただきたいと思いますとお願ひ申し上げます。よろしくお願ひいたします。

○男女共同参画担当大臣 ありがとうございます。

それでは、林議員、お願いいたします。

○林議員 横浜市長の林でございます。おはようございます。

本当に今、お二人の委員がおっしゃるとおり、非常によくまとまっていると思います。ただ、残念なことは、国家公務員の課長相当職の目標が7%となりました。これは指定都市市長会でも随分ここはもんだのですが、やはり目標は高くということで、いまだに30%の旗をおろしていないのですけれども、現実に対象者が恐らくいないのだろうと思いますが、ぜひここはもう少し意欲的な目標にいただければよかったのかなと思います。

以上でございます。

○男女共同参画担当大臣 ありがとうございます。

ほかの議員からございますか。御協力いただきまして、ありがとうございます。

それでは、閣僚の方々、御発言がございましたら、お願いいたします。

島尻大臣、お願いいたします。

○島尻国務大臣 ありがとうございます。

科学技術政策担当大臣として、また、女性閣僚の一人として、一言申し上げたいと思います。

先週18日の総合科学技術・イノベーション会議におきまして、第5期の科学技術基本計画の答申がまとまりました。この答申では、女性の能力を最大限に発揮できる環境を整備し、その活躍を促進するという事としておりまして、女性研究者の新規採用割合の目標値も盛り込んだところでございます。これを踏まえまして、科学技術分野で活躍する女性のロールモデルや好事例の発信などの取組について、私も先頭に立ちながら強気に推進していきたいと思っております。ありがとうございました。

○男女共同参画担当大臣 ほかによろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、「男女共同参画基本計画（案）」につきまして、資料2のとおり、本年12月1日に答申した「第4次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方」を踏まえたものであり、妥当である旨の答申を行うことに御異議はございませんでしょうか。

（「異議なし」と声あり）

○男女共同参画担当大臣 ありがとうございます。

それでは、案のとおり、答申することといたします。

ここでプレスが入ります。

（報道関係者入室）

○男女共同参画担当大臣 それでは、総理から御挨拶をいただきます。

○内閣総理大臣 新たな男女共同参画基本計画を、この後の閣議で決定いたします。

今回の計画では、「男性中心型労働慣行等の変革と女性の活躍」を新たに柱として掲げています。

女性が活躍する上では、多様で柔軟な働き方を選択できるかどうか鍵であります。長時間労働を前提とする働き方を、変えなければなりません。限られた時間で効率的に働く。それを評価する企業文化を広げる。家事や育児を夫婦で共に担うことを、当たり前にしていきます。

「週60時間以上働く雇用者の割合は5%以下。」「男性の13%以上が育休を取得する。」
具体的な目標を達成していきます。

あらゆる分野で、指導的地位の3割以上を女性にする。まずは、それにふさわしい人材のプールを広げます。採用される女性の割合を高める、指導的立場にふさわしい経験を積ませる。3割目標を達成できる道筋を、この5年間でつけます。

「まず隗より始めよ」と申し上げてきました。国家公務員については、本省係長に占める女性の割合を2020年までに30%にします。

「すべての女性が輝く社会」を実現する。関係閣僚は、全力で目標を達成していただきたいと思います。

○男女共同参画担当大臣 ありがとうございました。

ここでプレスの方の退場をお願いいたします。

(報道関係者退室)

○男女共同参画担当大臣 以上をもちまして「男女共同参画会議」の第47回会合を終了いたします。

議員の先生方には、この4次計画につきまして大変熱心に御議論いただきましたこと、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。